

新潟大学医歯学総合病院 会議の記録の概要

【開催日時】

2019年4月23日（火） 16:00～17:25

【開催場所】

新潟大学医歯学総合病院 第二会議室（西診療棟3階）

【出席委員名】

外山（委員長 薬剤部長）
 田中（外部委員・学識経験者）
 本間（外部委員・学識経験者）
 中田（委員 臨床研究推進センター）
 青山（委員 放射線治療科・放射線診断科）
 馬場（委員 麻酔科）
 葭原（委員 口腔生命福祉科）
 時田（委員 臨床研究推進センター）
 西野（委員 臨床研究推進センター）
 福井（委員 精神科）
 藤川（委員 皮膚科）
 森田（委員 耳鼻咽喉・頭頸部外科）
 奥田（委員 歯周病）
 八百板（委員 事務）
 荒川（委員 薬剤部）
 笹原（委員 薬剤部）
 井越（委員 看護部）
 川崎（外部委員・一般）

<前回の議事要旨について>

2019年3月26日議事要旨について、承認された。

【審議事項】

<新規について>

1. 医師主導治験（1件）

No	整理番号	議題	内容	審査結果
1	I019-001	再発又は難治性のCD30陽性皮膚原発悪性リンパ腫を対象としたプレントキシマブ ベドチンの有効性及び安全性を確認する多施設共同第II相医師主導治験	治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

2. 治験（2件）

No	整理番号	議題	内容	審査結果
1	C019-006	ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による多発性硬化症患者を対象としたOMB157の第III相試験	治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2	C019-007	ノボ ノルディスク ファーマ株式会社の依頼による成長ホルモン分泌不全性低身長症患者を対象として、somapacitanの週1回投与の有効性及び安全性を1日1回投与のNorditropin®と比較検討する	治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

<変更について>

1. 医師主導治験（1件）

No	整理番号	議題	内容	審査結果
1	IH27-002	急性脊髄損傷患者に対する顆粒球コロニー刺激因子を用いたランダム化、プラセボ対照、二重盲検並行群間比較試験 第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

2. 治験（27件）

No	整理番号	議題	内容	審査結果
1	CH27-002	小野薬品工業株式会社の依頼による未治療の進行性又は転移性腎細胞がん患者を対象に、ニボルマブとイピリムマブの併用療法とスチニブの単剤療法を比較する無作為化非盲検第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2	CH27-006	小野薬品工業株式会社の依頼によるプラチナ製剤による治療後に進行又は再発した転移性又は切除不能な尿路上皮がん患者を対象としたニボルマブ単群の第II相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
3	CH28-006	中外製薬株式会社の依頼による非小細胞肺癌患者（扁平上皮癌）を対象としたatezolizumabの第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
4	CH28-018	ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による胸膜中皮腫を対象としたBMS-936558/BMS-734016の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
5	CH28-019	中外製薬株式会社の依頼による腎摘除後の再発リスクが高い腎細胞癌患者を対象とした術後補助療法としてのATEZOLIZUMAB（抗PD-L1抗体）を評価する第III相多施設共同ランダム化プラセボ対照二重盲検試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

新潟大学医歯学総合病院 会議の記録の概要

6	CH28-020	中外製薬株式会社の依頼による尿路上皮癌患者を対象としたMPDL3280A (atezolizumab) の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
7	CH29-003	中外製薬株式会社の依頼による初発のステージIII期又はIV期の卵巣癌、卵管癌又は原発性腹膜癌患者を対象に、パクリタキセル、カルボプラチン及びペバシズマブとの併用下でアテゾリズマブとプラセボを比較する第III相多施設共同ランダム化試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
8	CH29-004	中外製薬株式会社の依頼による前立腺癌患者を対象としたMPDL3280A (atezolizumab) の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
9	CH29-010	EPSインターナショナル株式会社（治験国内管理人）の依頼による小児成長ホルモン分泌不全性低身長症患者を対象としたMOD-4023の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
10	CH29-013	EAファーマ株式会社の依頼による中等症の日本人活動期潰瘍性大腸炎患者を対象としたE6007の臨床第2相、プラセボ対照二重盲検並行群間比較試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
11	CH29-014	ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による腎細胞がん患者を対象としたBMS-936558/BMS-734016の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
12	CH29-015	小野薬品工業株式会社の依頼による尿路上皮がん患者を対象としたニボルマブとイピリムマブの第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
13	CH30-001	中外製薬株式会社の依頼による非小細胞肺癌患者を対象としたMPDL3280Aの第II/III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
14	CH30-006	ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による多発性硬化症患者を対象とした第II相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
15	CH30-009	アステラス製薬株式会社依頼の第II相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
16	CH30-011	アツヴィ合同会社の依頼による進行性核上性麻痺を有する被験者を対象としたABBV-8E12の有効性、安全性、忍容性及び薬物動態を評価する無作為化、二重盲検、プラセボ対照、反復投与試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
17	CH30-012	バイエル薬品株式会社の依頼によるプラチナ製剤を含む化学療法歴のあるFGFR陽性の局所進行性又は転移性尿路上皮癌患者を対象としたrogaratinib(BAY 1163877)の有効性と安全性を化学療法と比較、評価する無作為化、非盲検、多施設共同第II/III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
18	CH30-014	フェリング・ファーマ株式会社の依頼によるA Phase 3, Multi-centre, Randomised, Double-blind, Active-controlled, Parallel-group Trial Investigating the Efficacy and Safety of FE 999315 Following 8 Weeks of Treatment for Mild to Moderate Active Ulcerative Colitis in Japanese Subjects 軽症～中等症の活動期潰瘍性大腸炎患者にFE 999315を8週間投与した際における有効性及び安全性を評価する第III相、多施設共同、無作為化、二重盲検、実薬対照、並行群間比較試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
19	CH30-015	協和発酵キリン株式会社の依頼による糖尿病性腎臓病患者を対象としたRTA 402 (Bardoxolone methyl) の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
20	CH30-016	小野薬品工業株式会社の依頼によるONO-4538 非扁平上皮非小細胞肺癌に対する第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
21	CH30-020	小野薬品工業株式会社の依頼による未治療の進行性又は転移性腎細胞がん患者を対象に、ニボルマブとcabozantinibの併用療法とスニチニブを比較する無作為化非盲検第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
22	CH30-024	アストラゼネカ株式会社の依頼による進行卵巣癌を対象としたオラパリブ/デュルバルマブの第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
23	CH30-025	サノフィ株式会社の依頼による常染色体優性多発性嚢胞腎 (ADPKD) 患者を対象としたGZ/SAR402671の第II/III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
24	CH30-026	大日本住友製薬による膠芽腫を対象としたDSP-7888の第2相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
25	CH30-029	アストラゼネカ株式会社の依頼による切除不能な局所進行又は転移性尿路上皮癌患者を対象とした第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
26	CH30-030	アストラゼネカ株式会社の依頼による筋層浸潤性膀胱癌患者を対象としたMEDI4736の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

新潟大学医歯学総合病院 会議の記録の概要

27	EH30-001	テルモ株式会社の依頼によるTCD-0015-16の臨床試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
----	--------------------------	-------------------------------	----------------------------	----

3. 製造販売後臨床試験 (1件)

No	整理番号	議題	内容	審査結果
1	CH27-004	ヤンセンファーマ株式会社の依頼による非転移性 (M0) 去勢抵抗性前立腺癌男性患者を対象とした,ARN-509の多施設,ランダム化,二重盲検,プラセボ対照,第3相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

<安全性情報等について>

1. 院内 (9件)

≪医師主導治験、治験≫ (9件)

No	整理番号	議題	内容	審査結果
1	CH28-020	中外製薬株式会社の依頼による尿路上皮癌患者を対象としたMPDL3280A (atezolizumab) の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2	CH29-018	エーザイ株式会社による腎細胞癌を対象としたE7080, MK-3475の第3相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
3	CH29-021	日本たばこ産業株式会社の依頼による腎性貧血を伴う保存期慢性腎臓病患者を対象としたJTZ-951の第III相試験(MBA4-4)	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
4	CH30-008	株式会社ヤクルト本社の依頼による第II相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
5	CH30-013	MSD株式会社の依頼による進行子宮体癌患者を対象にE7080及びMK-3475を併用投与する第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
6	CH30-020	小野薬品工業株式会社の依頼による未治療の進行性又は転移性腎細胞がん患者を対象に、ニボルマブとcabozantinibの併用療法とスニチニブを比較する無作為化非盲検第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
7	EH30-001	テルモ株式会社の依頼によるTCD-0015-16の臨床試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
8	EH30-001	テルモ株式会社の依頼によるTCD-0015-16の臨床試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
9	TH29-003	●●●●株式会社の依頼によるADR-001投与後の継続観察試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

2. 国内・海外 (52件)

≪医師主導治験、治験≫ (51件)

No	整理番号	議題	内容	審査結果
1	IH27-002	急性脊髄損傷患者に対する顆粒球コロニー刺激因子を用いたランダム化、プラセボ対照、二重盲検並行群間比較試験 第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2	IH30-001	多系統萎縮症に対するMSA-01の有効性及び安全性を検討する、多施設共同プラセボ対照二重盲検比較試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
3	CH27-002	小野薬品工業株式会社の依頼による未治療の進行性又は転移性腎細胞がん患者を対象に、ニボルマブとイピリムマブの併用療法とスニチニブの単剤療法を比較する無作為化非盲検第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
4	CH27-004	ヤンセンファーマ株式会社の依頼による非転移性 (M0) 去勢抵抗性前立腺癌男性患者を対象とした,ARN-509の多施設,ランダム化,二重盲検,プラセボ対照,第3相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
5	CH27-006	小野薬品工業株式会社の依頼によるプラチナ製剤による治療後に進行又は再発した転移性又は切除不能な尿路上皮がん患者を対象としたニボルマブ単群の第II相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
6	CH27-009	中外製薬株式会社の依頼による腎細胞癌患者を対象としたATEZOLIZUMABおよびベバシズマブの第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
7	CH27-010	ファイザー株式会社の依頼による第1相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
8	CH27-014	日本イーライリリー株式会社の依頼による第1b/第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
9	CH27-018	ファイザー株式会社の依頼による尿路上皮癌患者を対象としたアベルマブ (MSB0010718C) の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
10	CH28-004	中外製薬株式会社の依頼による肺癌患者を対象としたMPDL3280Aの第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

新潟大学医歯学総合病院 会議の記録の概要

11	CH28-006	中外製薬株式会社の依頼による非小細胞肺癌患者（扁平上皮癌）を対象としたatezolizumabの第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
12	CH28-008	ファイザー株式会社の依頼による腎癌患者を対象としたアベルマブ（MSB0010718C）とアキシチニブの第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
13	CH28-012	小野薬品工業株式会社の依頼によるONO-4538第Ⅲ相試験 食道がんに対する多施設共同無作為化非盲検試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
14	CH28-014	MSD株式会社の依頼による進行性又は転移性尿路上皮癌患者を対象としたMK-3475の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
15	CH28-015	MSD株式会社の依頼による腎細胞癌を対象としたMK-3475の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
16	CH28-017	アステラス製薬株式会社の依頼による前立腺癌を対象とするエンザルタミドの第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
17	CH28-018	プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による胸膜中皮腫を対象としたBMS-936558/BMS-734016の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
18	CH28-019	中外製薬株式会社の依頼による腎摘除後の再発リスクが高い腎細胞癌患者を対象とした術後補助療法としてのATEZOLIZUMAB（抗PD-L1抗体）を評価する第Ⅲ相多施設共同ランダム化プラセボ対照二重盲検試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
19	CH28-020	中外製薬株式会社の依頼による尿路上皮癌患者を対象としたMPDL3280A（atezolizumab）の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
20	CH29-002	プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による非小細胞肺癌を対象としたBMS-936558/BMS-734016の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
21	CH29-003	中外製薬株式会社の依頼による初発のステージⅢ期又はⅣ期の卵巣癌、卵管癌又は原発性腹膜癌患者を対象に、パクリタキセル、カルボプラチン及びペバシズマブとの併用下でアテソリズマブとプラセボを比較する第Ⅲ相多施設共同ランダム化試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
22	CH29-004	中外製薬株式会社の依頼による前立腺癌患者を対象としたMPDL3280A（atezolizumab）の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
23	CH29-008	MSD株式会社依頼の早期非小細胞肺癌患者を対象としたMK-3475（Pembrolizumab）の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
24	CH29-009	MSD株式会社の依頼による腎細胞癌を対象としたMK-3475の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
25	CH29-014	プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による腎細胞がん患者を対象としたBMS-936558/BMS-734016の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
26	CH29-015	小野薬品工業株式会社の依頼による尿路上皮がん患者を対象としたニボルマブとイピリムマブの第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
27	CH29-017	武田薬品工業株式会社の依頼による日本人進行性腎細胞癌患者を対象としたCabozantinibの第2相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
28	CH29-018	エーザイ株式会社による腎細胞癌を対象としたE7080、MK-3475の第3相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
29	CH29-019	興和株式会社の依頼によるNAFLD患者を対象としたK-877の第Ⅱ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
30	CH30-001	中外製薬株式会社の依頼による非小細胞肺癌患者を対象としたMPDL3280Aの第Ⅱ/Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
31	CH30-003	アヅヴィ合同会社の依頼による生物学的製剤に対して効果不十分又は不耐容である中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としたupadacitinib（ABT-494）の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
32	CH30-004	アヅヴィ合同会社の依頼による既存治療に対して効果不十分又は不耐容であるが生物学的製剤での治療失敗歴のない、中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としたupadacitinib（ABT-494）の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

新潟大学医歯学総合病院 会議の記録の概要

33	CH30-005	アツヴィ合同会社の依頼によるM14-431 試験又はM14-433 試験を完了したクローン病患者を対象としたupadacitinib (ABT-494) の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照維持療法及び長期継続投与試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
34	CH30-006	ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による多発性硬化症患者を対象とした第Ⅱ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
35	CH30-009	アステラス製薬株式会社依頼の第Ⅱ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
36	CH30-010	アストラゼネカ株式会社の依頼による慢性腎臓病患者を対象としたDapagliflozinの第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
37	CH30-012	バイエル薬品株式会社の依頼によるプラチナ製剤を含む化学療法歴のあるFGFR陽性の局所進行性又は転移性尿路上皮癌患者を対象としたrogatrinib(BAY 1163877)の有効性及び安全性を化学療法と比較、評価する無作為化、非盲検、多施設共同第Ⅱ/Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
38	CH30-013	MSD株式会社の依頼による進行子宮体癌患者を対象にE7080及びMK-3475を併用投与する第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
39	CH30-014	フェリング・ファーマ株式会社の依頼によるA Phase 3, Multi-centre, Randomised, Double-blind, Active-controlled, Parallel-group Trial Investigating the Efficacy and Safety of FE 999315 Following 8 Weeks of Treatment for Mild to Moderate Active Ulcerative Colitis in Japanese Subjects 軽症～中等症の活動期潰瘍性大腸炎患者にFE 999315を8週間投与した際における有効性及び安全性を評価する第Ⅲ相、多施設共同、無作為化、二重盲検、実薬対照、並行群間比較試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
40	CH30-015	協発酵キリン株式会社の依頼による糖尿病性腎臓病患者を対象としたRTA 402 (Bardoxolone methyl) の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
41	CH30-016	小野薬品工業株式会社の依頼によるONO-4538 非扁平上皮非小細胞肺癌に対する第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
42	CH30-017	アステラス製薬依頼の尿路上皮がんを対象とする Enfortumab Vedotin の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
43	CH30-018	中外製薬株式会社の依頼によるボラツズマブ ヘドチンの第Ⅱ相臨床試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
44	CH30-019	大正製薬株式会社依頼による第Ⅰ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
45	CH30-020	小野薬品工業株式会社の依頼による未治療の進行性又は転移性腎細胞がん患者を対象に、ニボルマブとcabozantinibの併用療法とスニチニブを比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
46	CH30-021	全薬工業株式会社の依頼による抗ドナー抗体陽性・抗HLA 抗体陽性の生体腎移植患者に対する術前脱感作におけるIDEC-C2B8 の有用性を確認する臨床第Ⅲ相試験 生体腎移植患者に対して移植28～7日前からFK506/FK506E (MR4) を投与した場合の有効性、安全性及び薬物動態を確認する臨床第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
47	CH30-022	全薬工業株式会社の依頼による腎移植後の抗体関連型拒絶反応に対するIDEC-C2B8の有用性を検討する臨床第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
48	CH30-024	アストラゼネカ株式会社の依頼による進行卵巣癌を対象としたオラパリブ/デュルバルマブの第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
49	CH30-029	アストラゼネカ株式会社の依頼による切除不能な局所進行又は転移性尿路上皮癌患者を対象とした第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
50	CH30-030	アストラゼネカ株式会社の依頼による筋層浸潤性膀胱癌患者を対象としたMEDI4736の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
51	C019-005	大鵬薬品工業株式会社の依頼による高度催吐性抗悪性腫瘍薬 (シスプラチン) を投与する患者を対象としたPro-NETUの第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

「製造販売後臨床試験」(1件)

No	整理番号	議題	内容	審査結果
1	CH27-004	ヤンセンファーマ株式会社の依頼による非転移性 (M0) 去勢抵抗性前立腺癌男性患者を対象とした,ARN-509の多施設,ランダム化,二重盲検,プラセボ対照,第3相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

<報告事項>

新潟大学医歯学総合病院 会議の記録の概要

1. 迅速審査 (4件)

≪医師主導治験、治験≫ (1件)

No	整理番号	議題	迅速審査日	審査結果
1	CH29-019	興和株式会社の依頼によるNAFLD患者を対象としたK-877の第Ⅱ相試験	2019年4月11日	承認

≪製造販売後調査等≫ 新規 (3件)

- SH30-008 (迅速審査日: 2019年3月25日 承認)
 SH30-009 (迅速審査日: 2019年3月25日 承認)
 SH30-038 (迅速審査日: 2019年3月25日 承認)

2. 終了報告 (12件)

≪医師主導治験、治験≫ (4件)

CH28-011, CH29-012, CH29-016, CH30-028

≪製造販売後調査等≫ (4件)

SH25-020, SH28-034, SH29-002, SH30-017

≪自主臨床研究≫ (4件)

NH23-004, MH23-005, NH24-001, NH26-006

3. 報告 (27件)

≪医師主導治験、治験≫ (24件)

IH30-001, CH26-001, CH26-002, CH27-006, CH27-010, CH27-012, CH27-014, CH28-004, CH28-014, CH28-015, CH28-017, CH29-009, CH29-015, CH29-017, CH29-021, CH30-009, CH30-010, CH30-015, CH30-016, CH30-017, CH30-018, CH30-019, CH30-026, CH30-029

≪製造販売後臨床試験≫ (1件)

CH25-025

≪製造販売後調査等≫ (2件)

SH26-006, SH30-002

4. 修正報告について (1件)

≪医師主導治験、治験≫ (1件)

C019-003

<その他>

1. 2019年2月26日開催本委員会における会議の記録の概要の公表案について

審査結果: 承認

2. 次回の開催日、次々回の開催日について

次回 : 5月28日 (火曜) 16:00~ 医歯学総合病院第一会議室 (西診療棟3階)

次々回 : 6月25日 (火曜) 16:00~ 医歯学総合病院第二会議室 (西診療棟3階)